

2012年7月31日(火) 18:00~18:35

【出席者】

取締役常務執行役員 経営管理担当 小酒井 健吉
取締役常務執行役員 開発本部長 三津家 正之
執行役員 営業本部副本部長 吉川 哲男

【2012年度第1四半期決算】

テラビック

Q/テラビックについて、全例調査における患者登録数が順調に推移し、売上高が堅調である。このペースで推移すると、上期計画を上回るのではないかと。また、全例調査が解除される時期はいつ頃を見込んでいるか？

A/契約医療機関、患者登録数は順調に推移しており、上期については、概ね現在のトレンドで推移する見通しである。全例調査が解除される時期は、各症例毎に観察期間が1年間あるため、2014年頃を見込んでいる。

Q/日本肝臓学会がC型肝炎治療ガイドラインを作成し、同学会のホームページで「高齢者(66歳以上)には、2剤併用(ペグインターフェロン、リバビリン)、可能であれば3剤併用(テラビック、ペグインターフェロン、リバビリン)」との指針を公表しているが、ガイドラインの影響は出ているか？

A/当社としては添付文書に則り、医療機関に適正使用情報の提供を徹底している。高齢者の患者さんにも、本剤による治療は行われており、その割合は全体の4分の1程度である。

シンポニー

Q/シンポニーについて、競合品やレミケードからの切り替え状況や新規患者の獲得状況はどうなっているか？

A/全例調査を実施していないため正確には把握していないが、発売直後は競合する皮下注製剤からの切り替えのほうが多かったが、最近では新規患者での使用も徐々に増えてきている。また、レミケードからシンポニーへの切り替えは10%程度と推定している。

イムセラ

Q／イムセラについて、添付文書の改訂により、医療機関において初回投与後、24 時間の心電図等のモニタリングが義務付けられたが、市場への浸透に影響は出ているか？

A／添付文書改訂後も、全例調査の契約医療機関、患者登録数は順調に推移しており、大きな影響は出していない。

ラジカット

Q／ラジカットについて、売上高は前年同期に比べて大幅な減収(△44.9%)となっているが要因は何か？ また、今後はどのように見通しているか？

A／本年 4 月に実施された薬価改定の影響(18.3%の薬価引下げ)に加え、前期に発売された後発品の影響拡大(6 月単月の数量ベースでの後発品比率は3割弱)により、大幅な減収となっている。9 月には後発品比率が3割を超えると予想しており、厳しい状況が続くが、後発品比率の伸びは鈍化傾向にあると捉えている。

テネリア

Q／テネリアについて、販売戦略(患者さんのターゲティング)について、どのように考えているか？

A／戦略についてはお話できないが、6 月に承認を取得した単剤での使用やスルホニル尿素薬やチアゾリジン薬との併用で使用するようになる。

Q／ビグアナイド薬(メトホルミン)との併用は可能か？

A／現在、メトホルミンとの併用試験を実施中(フェーズ 3)である。「新規経口血糖降下薬の臨床評価ガイドライン」に準拠出来る様、現在治験を進めている。

アクレフ

Q／アクレフについて、現在、どのような状況か？

A／国内での承認は既に取得している。本剤をお待ちいただいている患者さんのためにも早急な発売をめざしているが、海外製造先での安定供給体制が未だ整わないため、発売時期は現在のところ未定である。

技術導出契約金等(ジレニア)

Q／技術導出契約金等(ジレニアのロイヤリティを含む)について、ノバルティスが発表した第 2 四半期のジレニア売上高から推定すると、会社計画は保守的ではないか？ また、ロイヤリティ額の個別開示は可能か？

A／ジレニアの全世界での売上は順調に拡大していることから、ジレニアのロイヤリティは、当社計画より多少上振れている。ロイヤリティの個別開示については、ノバルティスとの契約上の問題もあり、現時点では開示していないが、今後、個別開示に向けて検討していきたい。

Q/ジレニアについて、ノバルティスが米国で提供している初回投与時のモニタリングをサポートするプログラムや、その他価格戦略について、田辺三菱製薬は関与しているのか？
また、価格戦略により、受取りロイヤリティの条件に影響を及ぼすのか？

A/ノバルティスの価格対応を含む販売戦略については、当社は関与していない。また、契約に関わる事項については回答できないが、当社が受け取るロイヤリティについて、大きな影響を及ぼすことはない。

売上原価率・販管費

Q/売上原価率について、第2四半期以降に大きく改善する計画となっているが、原価率改善の要因は何か？

A/原価率が改善する要因としては、ジレニアのロイヤリティ増加に加え、テネリアの発売や前期から販売している新製品の売上拡大を想定している。

Q/販管費の進捗が遅れているが、第2四半期以降に計画通り使い切るのか？

A/研究開発費や営業関連費用等、個々には進捗が進んでいるもの、遅れているものがあるが、販管費全体では、期初の想定通り発生する見込みである。

【開発パイプライン】

MT-1303

Q/MT-1303について、イムセラ(ジレニア)との作用機序の違いは何か？

A/イムセラ(ジレニア)と同様にS1P受容体に作動するメカニズムである。詳細はお話できないが、基本的には、イムセラ(ジレニア)で問題になっている副作用を改善すると考えている。

MP-146

Q/米国で開発を進めているMP-146について、どのような状況か？

A/既にフェーズ3試験は終了しており、現在、試験データの解析を行っている。

TA-1790(アバナフィル)

Q/TA-1790について、米国での販売はどのような状況か？ 米国での販売パートナーは決まったのか？

A/導出先のヴィーヴァスが、本年4月に米国で承認を取得した。現在、ヴィーヴァスが米国での販売パートナー候補と交渉中と聞いている。

以上